

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	人文社会特論B		
英文授業科目名	Researches in Humanities and Social Sciences B		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	6, 8学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>夏目漱石の『草枕』、森鷗外の『舞姫』という、近代を代表する小説を読み解いてゆきたい。漱石や鷗外は、どこからヒントを得て、ストーリー・人間関係・テーマを確定していったのだろうか。そして、彼らが用いた個性的な表現には、何か「源泉」があるのだろうか。</p> <p>この分析を通して、名作が誕生する神秘に、少しでも迫りたいと思っている。</p> <p>『草枕』の那美、『舞姫』の大田豊太郎。彼らの心が「わかった!」と思えたら、この講義の目標は達成されたことになる。</p> <p>文学史の概説ではなくて、作品の中を生き、作者が作品を想像する現場に自分が立ち会えたという喜びを、履修者全員で分かち合いたい。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>特に、なし。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>特に、なし。</p>
---

<p><b>【教科書等】</b></p> <p>教科書：島内景二著『漱石と鷗外の遠景』（ブリュッケ発行・星雲社発売）</p>
--

【授業内容とその進め方】

最初に、数回、漱石と鷗外についての入門的概説を行う。

ついで、8回程度で、『草枕』を読み進める。那美という変わった性格の女性の突拍子もない行動を支えている彼女の「思い」を、『伊勢物語』や『源氏物語』以来の物語伝統とからめて考える。

残りの5回程度で、『舞姫』を読む。諸君も、高校の教科書で既に読んだ経験があると思うが、「近代小説」なのに「古文」で書かれている。なぜなのか。そして、どこが『源氏物語』と同じで、どこが違うのか。

なお、講義で取り上げる『草枕』や『舞姫』の本文は、すべて教科書に再録しているので、毎回教科書を持参してくるようにしてほしい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末に、論述式のペーパーテストを実施する。また、学期途中に、小レポートを課す。この小レポートを未提出であれば、試験の成績からワンランク下げる。なお、何回か、出席も取る。

講義内容を理解できているか、批判的に受け止め得ているか、自分の考えを打ち出すにいたっているかで、採点する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

明治の小説は、もうむずかしくて読めないと言われている。でも、あらずじ本で読んでも、小説を読んだことにはならない。この講義では、なるべくかみ砕いて説明するが、「原文」を味わいつつ、作者の苦心を理解したいと思っている。

というわけで、小説を読むのが好きな人、漱石はどれくらい偉かったのか知りたいと思っている人、文豪はどういう言葉の勉強をしたのかに関心がある人、そういう諸君の履修を期待します。

【その他】